

海洋プラスチック問題をうけて

『2020年～はへちまカーテンでスポンジの自給自足にもチャレンジ！』

海洋プラスチック問題が話題となっています。ウミガメの鼻にプラスチックストローが刺さっている映像はニュースなどでも放映されました。また私たちの住む福知山に近い日本海の海岸沿いでもたくさんのプラスチックごみが漂着し、みなさんも悲しい気持ちになられていることと思います。そんな中、ペットボトル飲料のラベルをなくす動きや、プラスチック製のストローから紙製のストローに変わる店舗が増えたり、スーパーのレジ袋が有料化になるなど、プラスチック製品を作らない・使わない・ゴミとして出さない（減らす）動きが目に見える形で活発になってきました。みなさんがご家庭の台所で使っているスポンジもその原因の1つとなっています。摩耗したスポンジは、川から海へと運ばれマイクロプラスチック化し海の生態系に影響を及ぼしています。そこで、わたしたち福知山環境会議では2020年からへちまを育てて台所スポンジを作り、ご家庭で使っていただく取り組みを広めています。（今年はゴーヤ苗と一緒にへちま苗も配送しています）育て方はゴーヤとまったく同じです！とても簡単ですので、ぜひチャレンジしてみませんか？

へちまスポンジの作り方 (ゆでる方法)

- ① しっかりと固く成長したへちまを収穫
- ② 使いやすい大きさにぶつ切りし、熱湯で30分程度茹でる
- ③ 冷水で冷やしてから、皮と種を取り除き、天日で乾燥させたらできあがり



簡単な方法

みどりのカーテンが終わり、枯れてへちまの実が乾燥したら、皮と種を取り除いて使いやすい幅に切って完成！

へちまスポンジの活用方法

- ① 2cmくらいの厚みに切って固形石鹸置き場として使ってみてください。いつも石鹸が乾いて、ヌルヌルを予防することができます。
- ② へちまスポンジは、入浴時に体を洗ったり、野菜を洗う際のたわしとしても、また手洗い場のシンクを掃除するにも、とても便利です。

